



作家と読者をつなぐ 奈良・読書の旅

奈良にまつわる作品を著者と語り、
奈良を舞台にした作品をより深く味わう。

作品

奔放、奇抜な発想と巧妙な謎解き。

「海のある奈良に死す」

講師 || 有栖川 有栖 [作家]
ありす すがわ



9月13日(日)

平成21年



午後1時30分～午後3時30分【開場午後12時30分】
会場 || 奈良県立図書館情報館1階交流ホール

平城遷都1300年 奈良・読書の旅 第4回



「海のある奈良に死す」あらすじ

推理作家の有栖川有栖は、出版社で出会った作家の赤星栄が、「海のある奈良へ行ってくる」といって新作の取材に旅立つのを見送った。だが赤星は福井・小浜の岩場で遺体となって発見される。

有栖川と友人の犯罪学者、火村英生は赤星が手がけていたミステリー「人魚の牙」の構想をたどって事件の調査を始めた。関係者に話を聞くうち、赤星は現地に伝わる「八百比丘尼伝説」を取材していたらしいと分かる。「海のある奈良」の意味とは何か。伝説と事件の間にはどんな関係があるのか――。



■プロフィール

ありすがわありす
有栖川 有栖（作家）

1959年大阪市生まれ。同志社大学で推理小説研究会に所属。89年に「月光ゲーム」でデビューし、新本格ミステリーブームをリードする一人となった。犯罪学者の火村英生と推理作家の有栖川有栖のコンビが難事件を解決するシリーズで人気を集め、2003年「マレー鉄道の謎」で日本推理作家協会賞、08年「女王國の城」で本格ミステリ大賞・小説部門を受賞。00年から05年まで本格ミステリ作家クラブ会長を務めた。

著書に「壁抜け男の謎」「火村英生に捧げる犯罪」「赤い月、廃駅の上に」ほか。

聞き手：浪川 知子（読売新聞大阪本社文化部記者）

作品
奔放、奇抜な発想と巧妙な謎解き。
「海のある奈良に死す」



奈良にまつわる作品を著者と語り、
奈良を舞台にした作品をより深く味わう。

奈良・読書の旅

申込み方法

定員：300名（先着順） 入場無料

往復はがき、FAX、eメール、電話、当館ホームページ申込みフォームまたは来館で。

- ①「奈良・読書の旅申込み」 ②郵便番号、住所 ③お名前（ふりがな） ④年齢
 - ⑤電話番号（FAXでの申込みの場合は必ず送信元のFAX番号を記入してください。）をご記入の上、左記までお申込みください。
- なお、往復はがきの方は、返信はがきに返信先の郵便番号、住所、氏名を必ず記入ください。
申込みは1通につき2名まで。（2名お申込みの場合は、「2名申込み」と明記ください。）

申込みフォーム：http://www.library.pref.nara.jp/event/event_moushikomi.html

申込み専用アドレス：koen@library.pref.nara.jp

来館申込み：2階貸し出し返却カウンターで受け付けます。

お申込み・お問い合わせ先



〒630-8135 奈良市大安寺西1丁目1000番地
TEL 0742-34-2111 FAX 0742-34-2777
URL <http://www.library.pref.nara.jp/>

【交通アクセス】

●近鉄奈良駅より
奈良交通バス停(8番のりば)から「県立図書情報館行き(22系統)」に乗車し、終点。所要時間約20分。
●JR奈良駅より
奈良交通バス停(10番のりば)から「県立図書情報館行き(22系統)」に乗車し、終点。所要時間約15分。
●近鉄新大宮駅より
駅南口バス停から「四条大路南町行き(8系統)」に乗車し、県立図書情報館西口下車。徒歩5分。所要時間約15分。
●自家用車利用
国道24号線の柏木町交差点を東に折れ、1つ目の信号を左折。約700メートル先の左手側。
駐車スペース：普通車311台。
1時間までは無料、それ以降は1時間毎に100円。

